



# ピュアライド 水性UVプロテクトクリアー

## UVプロテクトクリアーシリーズに「水性」がNEWラインナップ!

### ■特長

#### ① 耐久性

水性UVプロテクトクリアーはセラミック系\*樹脂を使用。緻密で強力に結合した分子構造と紫外線吸収剤の働きで外壁の劣化を長期間抑制し、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま、長期に維持できます。  
\*当製品の一般名称に使用されている「セラミック系」は、アクリルシリコン樹脂を意味します。

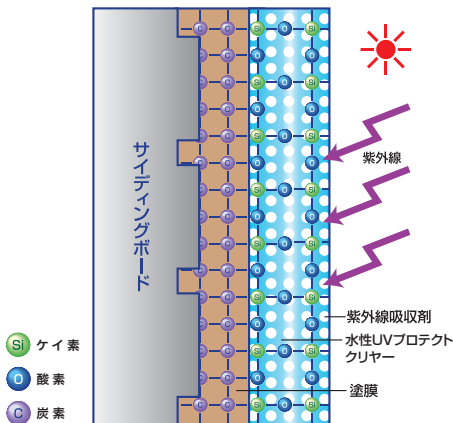
#### ② 超低汚染性

水性UVプロテクトクリアーの塗膜は親水性塗膜。水性UVプロテクトクリアーを施した外壁なら、表面に付着した汚れを、雨で浮かせて流すことができ、外壁を長期間清潔に、美しく保つことができます。

#### ③ 防藻・防かび性

水性UVプロテクトクリアーは防藻・防かび性を有しており、かび菌や藻の発生を長期間にわたり抑制することができます。

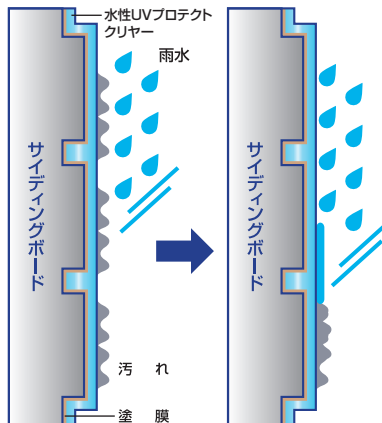
#### ■耐久性



##### 結合が切れにくい+紫外線を吸収

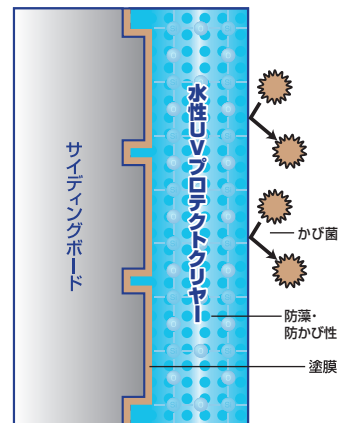
★ケイ素(Si)と酸素(O)の強力な結合のため紫外線での劣化を抑制します。紫外線吸収剤の働きで、外壁塗装の色落ち、色あせを防ぎます。

#### ■超低汚染性



★汚れの下に雨水が入り込み、汚れを浮き上がらせ、そのまま流し落とすことができます。

#### ■防藻・防かび性



★かび菌をバリア。イヤな藻の発生も防ぎます。

### ■用途

各種意匠性サイディングボードおよび高意匠サイディングボードの塗り替え塗装

### ■適用下地

各種意匠性サイディングボードおよび高意匠サイディングボード  
(注)光触媒処理を施したサイディングボードには適応していません。

光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。  
シーリング面は塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので塗装は避けてください。



※塗装後写真は、つや有り2回塗りです。3分つや有りの場合は落ち着いたつやに仕上がります。



## 標準塗装仕様(塗り替えの場合)

### ● 高意匠サイディングボードフリー仕上げ

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エフロレッセンスはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とし除去してください。						
下塗り	ピュアライド 水性UVプロテクトクリアー (つや有り)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	20~30 0~10	エアスプレー ウールローラーはけ※
上塗り	ピュアライド 水性UVプロテクトクリアー (つや有り・3分つや有り)	1	0.10~0.16	—	水道水	20~30 0~10	エアスプレー ウールローラーはけ※

(注) ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。  
 ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。  
 ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ※下塗りはつや有り、上塗りは同品種もしくは同品種のつや調整品をご使用ください。 ※ダした塗料が溜まった場合に、目地はけて広げてください。

## 荷 姿

製品名	容量	混合比(重量比)	色相	つや	塗り面積(缶当り/1工程)	ポットライフ(23℃)
ピュアライド 水性UVプロテクトクリアー	15kgセット (■14kg ■1kg)	14:1	乳白色	つや有り 3分つや有り	93~150m <sup>2</sup>	6時間

## 乾燥時間

塗り重ね乾燥時間		
5~10℃	23℃	30℃
4時間以上	4時間以上	3時間以上

### ■施工上の要点及び注意事項 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を合ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起すおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- 光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- つや調整品を使用する場合は上塗り1(中塗り)に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがあります。
- 吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- 経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- つや調整品を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、1回目の塗装時に表面に塗膜が残らないような場合はつや有りを増し塗り、もしくは2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- 塗装後は濡れ肌になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりを確認ください。
- 仕上がりがむらになりやすいため、ニッペカラーマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して調色することは避けてください。
- フリー仕上げは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすすめできません。ヘラクレスの発生がなく、かつ築後10年以内であることをご了承ください。
- 下塗りにエポキシ樹脂塗料(ニッペ浸透性シーラー(新)など)は使用しないでください。変色、はく離の可能性がります。
- 水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリアー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすと本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状・素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はけが固まったりダムになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、洗浄面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後、密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起ることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄すぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### ■安全衛生上の注意事項

#### 水性UVプロテクトクリアー 硬化剤

#### 横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 施錠して保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。

- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切かつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください

■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

#### 警 告



#### 危険有害性情報

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608  
 東北支店 ☎ 022-232-6712 中国支店 ☎ 082-281-2180  
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861  
 中部支店 ☎ 052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
 ●ピュアライド(登録第5016950号)は、日本ペイント株式会社の登録商標です。  
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W084

AA181010T  
 2018年10月現在